

有害鳥獣被害対策

地域ぐるみで取り組むイノシシ対策

問農政課 TEL 43・11111

(内線1143)

7人で1時間に設置できるのは約50m。1日の作業で進むのは240m〜250mほどです。

箱罾は餌を使って箱の中におびき寄せて捕獲する箱状の罾のことをいいます。十三塚地区では、箱罾をイノシシの通り道に設置して、地域住民が交代で餌をまいて見回りをするなどして、捕獲の実績を上げています。令和元年度は4頭捕獲しました。

2月16日、十三塚地区で地域住民が集まりイノシシ対策のためのワイヤーメッシュの設置作業が行われました。この日参加したのは、36歳から77歳までの22人。1月11日から3回に分けて実施する計画の2回目の日でした。

十三塚獣害対策委員会会長の瀬尾栄一さんは「イノシシの捕獲実績を上げ、地域の農作物の被害を食い止めていくことが第一の目標だが、地域ぐるみで取り組むイノシシ対策の副産物は、箱罾の管理などを通して、地域住民同士の関わりや会話が増えたこと。これからも、地域住民で力を合わせて対策に取り組んでいきたい」と話してくれました。

ワイヤーメッシュは集落の山際を取り囲むように設置します。柿やみかんの木の幼木の根が掘り返されてしまうなどの被害が多く、集落に入っていないようにするためです。平成30年度は1.7kmでしたが、令和元年度は3.8km延長しました。

今年度は、新たに両桁山寺地区・半久地区・太田地区が防護柵設置活動を開始予定。設置の際には、補助金対象(次ページ参照)となる場合もありますのでお問い合わせください。



鳥獣被害対策実施隊

捕獲活動がスタート

有害鳥獣被害対策実施隊（以下、実施隊）とは、猟友会石岡支部と八郷支部の支部長から推薦された隊員で構成されており、市内で有害鳥獣の捕獲活動を行っている団体です。今年度の隊員は、40代～80代の総勢32名。それぞれ銃猟免許もしくはわな猟免許を持っています。

毎年4月に実施隊の任命式を行います。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、代表者のみで時間を短縮し行われました。

実施隊は毎年2回、捕獲活動を行っていて、今年度は繁殖期を終えた5月30日～6月28日と収穫時期の8月29日～10月25日に実施します。

昨年度の捕獲頭数は293頭。「全体的に数は増え続けているが、ここ4、5年で顕著なのは国道6号線付近や東大橋など石岡地区での数の増加だね」と話すのは実施隊の鈴木哲夫隊長。鈴木さんは、実施隊の隊長を勤めて30年以上の大ベテラン。隊員とともに市内の山を早朝からまなく歩き、足跡の新鮮さなどから

イノシシの移動経路を特定し、10～20人ほどで猟を行います。「猟は協力して行うもの。知識はもちろん、お互いの信頼感がなければ」と鈴木さんは話します。

銃を使用するため、猟の前には必ず隊員に銃の取り扱いについて注意喚起をしているそう。その甲斐もあり、石岡市の実施隊は現在まで無事故・無違反。

「身の危険を感じることも、これまで幾度となくあった。でも、地元農作物の被害を少しでも減らすことができれば、という想いで続けます」と鈴木さんは話します。

山の中に入るときに気を付けること

・鈴やラジオなど音の鳴るものを身につけよう。

・目立つ服装にしましょう。

・農作物被害防止用としてカラスを配布します

・希望者は6月28日(日)午後4時に八郷総合支所駐車場にお集まりください。

有害鳥獣対策関連 補助金のごあんない

①農作物被害防止防護柵設置補助金

▼鳥獣による農作物被害を防止するため、耕作農地への防護柵設置に対する費用の一部を補助します（要事前申請）。

対象者：市内に住所を有し、鳥獣による農作物被害を防止する目的で防護柵を設置する者で次のいずれかに該当する者

共同申請：3人以上の農地所有者が共同で連続した3筆以上の耕作農地に防護柵を設置すること

個人申請：農地所有者が個人で耕作農地に防護柵を設置すること

補助額

共同申請：経費の2分の1以内（上限15万円）

個人申請：経費の4分の1以内（上限2万円）

②狩猟免許取得補助金

▼狩猟免許の取得に要する対象経費の一部を補助します（合格者のみ）。

対象経費：免許申請手数料および予備講習会受講料等

補助額

わな猟：全額補助

銃猟：経費の2分の1以内（上限3万円）

対象者：市内に住所を有し、過去に狩猟事故または狩猟違反がなく、次のいずれにも該当する者。

①新たにわな猟免許、銃猟免許を取得する者。ただし、新たに銃猟免許を取得する者にあつては申請日現在における年齢が65歳以下の者に限る。

②新たに銃猟免許を取得する者で、猟友会石岡支部または八郷支部に5年以上継続して所属し、かつ有害鳥獣の捕獲活動に従事することを確約した者。